

令和5年度 奈良県立奈良商工高等学校（全日制課程） 学校評価総括表

【高等学校用】

年度	令和5年度（中期計画2年目）
本校の使命（スクール・ミッション）	地域社会に貢献できるものづくりとビジネスのスペシャリストの養成
年度重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 社会の様々な変化や多様な課題に対応することのできる力を育成する。 2 工学系とビジネス系等に関する基礎的、基本的な知識や技術・技能を育成する。 3 規範意識と社会の一員としての自覚をもたせる。 4 目的意識をもち、協働的に粘り強く取り組むことができる精神力や体力、協調性を養う。

1 スクール・ポリシーの内容

教育方針 （スクール・ポリシー）	入学者の受け入れに関する方針 （アドミッション・ポリシー）	<ol style="list-style-type: none"> 1 本校では、入学選抜を経て、以下のような生徒を受け入れます。 2 本校の学科の特色を理解し、明確な進路目標を掲げて高校生活を送ることができる生徒 3 本校志望の意志が強く、社会の変化に対応できるよう主体的に学習に取り組み、学校行事、部活動、地域交流等に積極的に参加し、常に自らを高め、「目標」に向かって努力する生徒 4 ものづくりや科学技術に関心をもち、工業に関する知識・技能の習得と資格取得に積極的にチャレンジする生徒 5 ビジネス社会に関心をもち、ビジネス活動に必要な資格の取得に向けて一生懸命に努力することのできる生徒
	教育課程の編成及び実施に関する方針 （カリキュラム・ポリシー）	<ol style="list-style-type: none"> 1 本校では、確かな学力・豊かな人間性・健やかな心身の育成と多様に変化する社会に主体的に対応し得る能力・意欲・創造性を養うことを教育方針とし、その実現のために以下の教育を行います。 2 生徒会活動、部活動、ボランティア活動を通して、他者と協働する力を育成します。 3 就職や進学に対応した柔軟な科目選択や少人数指導を行います。 4 実社会で役立つ資格を取得し、社会に貢献できる専門力を育成します。 5 最先端の機器を活用して、ものづくりやビジネスに関する実験・実習を行います。 6 大学や専門学校、企業等と連携した高度な授業や技術講演会を実施します。
	育成を目指す資質・能力に関する方針 （グラデュエーション・ポリシー）	<ol style="list-style-type: none"> 1 本校では、以下の資質・能力を身に付け、74単位以上の単位数を修得した生徒に卒業を認定します。 2 人間尊重の精神に徹し、自他の価値を認め合い、他者と協働しながら自分を成長させることができる。 3 将来にわたり、高い志をもち、自から学び、自ら考え、社会の変化に柔軟に対応することができる。 4 主体的に行動し、地域社会の中核として活躍することができる。 5 専門的知識と確かな技術を習得し、工業や商業の発展に寄与することができる。

2 奈良県教育振興基本計画（「奈良の学び推進プラン」）が示す各テーマごとの学校教育目標

A 目標を大きく上回っている B おおむね目標を上回っている C 目標に達していない

テーマ	学校の教育活動に関する目標（A）	計画期間における具体的目標（B）	令和5年度末の目標値等（C）	令和5年度末の状況（D）	自己評価（E）	学校関係者評価（F）	
1. こころと身体を子どもの成長に合わせてはぐくむ	体力・運動能力・運動意欲の向上	運動部・文化部加入率の向上	前年度比5%増				
		定期的な運動週間がある・運動が好きな生徒等の割合増加	アンケート60%以上				
	基本的生活習慣の確立	あいさつの励行	アンケート85%以上				
		遅刻数の減少	前年度比5%減				
	食育の推進	朝食を毎日食べている生徒の割合	生徒アンケート80%以上				
健康維持	食生活の大切さを理解している生徒の割合	生徒アンケート80%以上					
2. 学ぶ力、考える力、探求する力をはぐくむ	アクティブラーニングの実践	アクティブラーニングによる課題研究の推進（授業満足度）	アンケート80%以上				
	I C Tを活用した授業の充実	生徒のI C T機器活用力の向上、I C T機器を活用した授業の生徒評価（授業満足度）	アンケート80%以上				
	教員の働き方改革	教員の1月の超過勤務時間数削減（3か月連続45時間超過者数）	0名				
3. 働く意欲と働く力をはぐくむ	キャリア教育の推進	2年生インターンシップ・デュアルシステム参加生徒数	40%以上				
	実学教育の推進	企業見学や社会人講師等を招いての実習・講演・授業等実施	30回以上				
4. 地域と協働して活躍する人を育てる	地域との連携・協働の推進	学校運営協議会（コミュニティースクール）の積極的な運営	運営状況				
	地域に貢献する人材の育成	地域との連携事業実施 2年生インターンシップ・デュアルシステム参加生徒数	実施状況 40%以上				
5. 地域で個性が輝く環境と仕組みをつくる	人権教育の推進	「人権教育推進プラン」に沿った取組の推進 人権講演会各学年1回以上 職員研修年間1回以上	人権講演会各学年1回以上 職員研修1回以上、部内研修 学期1回以上実施				
	いじめの未然防止・不登校等への対策	「奈良県いじめ防止基本方針」「学校いじめ防止基本方針」にもとづく取組の徹底と定期的なアンケート実施	アンケート2回以上				
		スクールカウンセラーとの連携（連絡会実施）	3回以上				
	特別支援教育の推進	定期的な特別支援教育推進委員会の開催による情報共有と個別の支援計画の作成	情報共有4回以上 支援計画全員作成				
多文化共生教育の充実	多文化理解のためのHRの展開	実施状況					

3 評価結果の分析、今後の改善方策等

--